

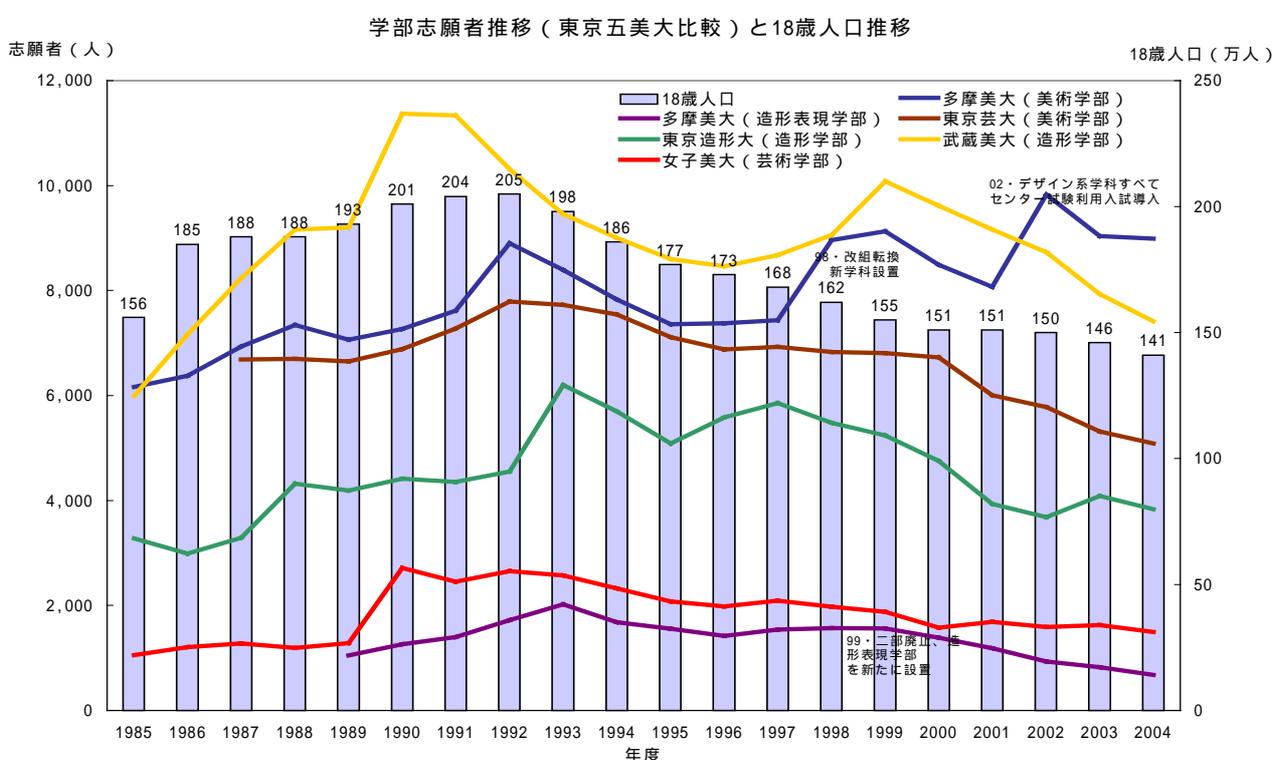
§はじめに§

入学・卒業グループにおいては、「受験生が大学に何を求めているのか?」、「社会が卒業生に何を求めているのか?」という観点から、「需要」を測ることを目的とした。なお、「需要を測る」という主旨から 2000～2003 年度という期間を取り払い、長期的な推移を検証することとした。

§現状報告・評価§

1. 入学について

志願者数



(図 -1)

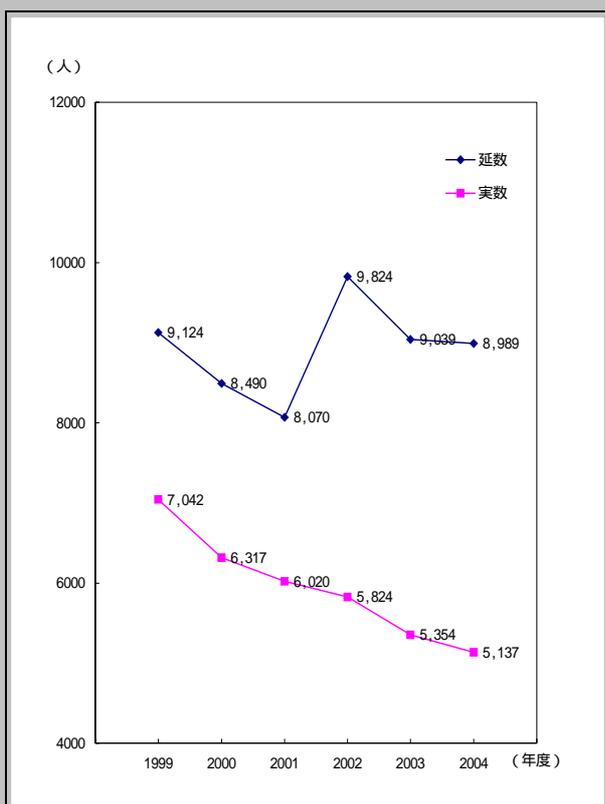
<分析・報告・評価>

18歳人口 200 万人時代から、他の主要美術系大学の志願者数が減少しているなか、本学美術学部の志願者数は年度によって多少の波はあるが、全体的に右肩上がりを示している（図 -1 参照）。これは主に 1998 年度の改組転換・新学科設置、また 2000 年度入試で一部の学科が取り入れ 2002 年度からデザイン系学科すべてが導入した、センター試験利用入試などの入試改革が成果としてあげられる。センター試験を利用することによって同一学科を 2 回出願することが可能になり、また試験日程なども工夫され一人が美術学部内を最大 10 通り出願できるようになっている。

< 課 題 >

しかし、一見好調に見える志願者数も、併願の増加による志願者延数であり、現実的な志願者実数は大きく減少していることを認識しなければならない。

1999年度7,042名いた志願者実数も、2004年度には5,137名と約30%減少しており、これは同時期の18歳人口が約10%の減少率であることを考えると、かなり危機感を持たなければならない(図 -2 参照)。また造形表現学部は、状況がもっと深刻で、社会人教育を念頭においてはいるが、一般入試の志願者は約60%の減少で、18歳人口の減少ということだけでは説明しにくい状況がある。



美術学部志願者の推移 (図 -2)

美術系大学志願者の内、優秀な層は限られている。これら優秀な学生確保のために、今後ますます、美術・デザインを志望するところざし高く、質の良い受験生に、本学を第一志望と考えてもらえるような魅力ある大学づくりをしていかなければならない。

また他の美術系大学とも連携しながら、小・中学校の早い段階で意識づけを行い、美術・デザインを学びたいという層のすそ野を、拡大していくことも必要になって来るだろう。

倍 率

一般的に倍率には2種類の計算方法がある。

ア) 志願倍率 (志願者 ÷ 入学定員)

入学試験前、出願終了時に発表する倍率

イ) 受験倍率 (受験者 ÷ 合格者) 合格者は補欠繰上合格者を含む

入学者が決定した後に発表する実質倍率で、受験生にとって重要な指標

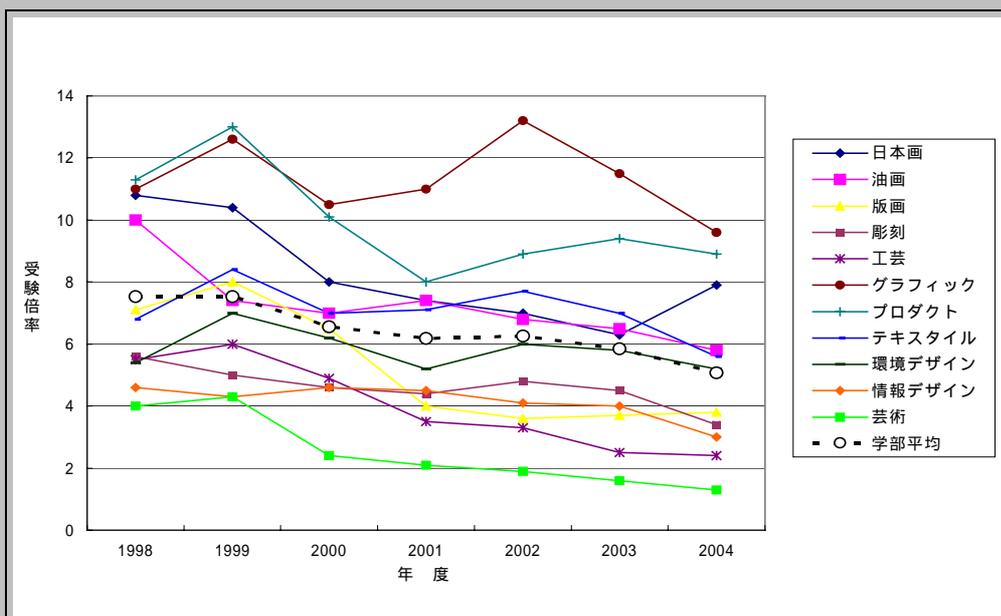
(図 -3 ~ 6 参照)

これまで学内において倍率の定義が統一されていなかったため、今回その定義づけを行

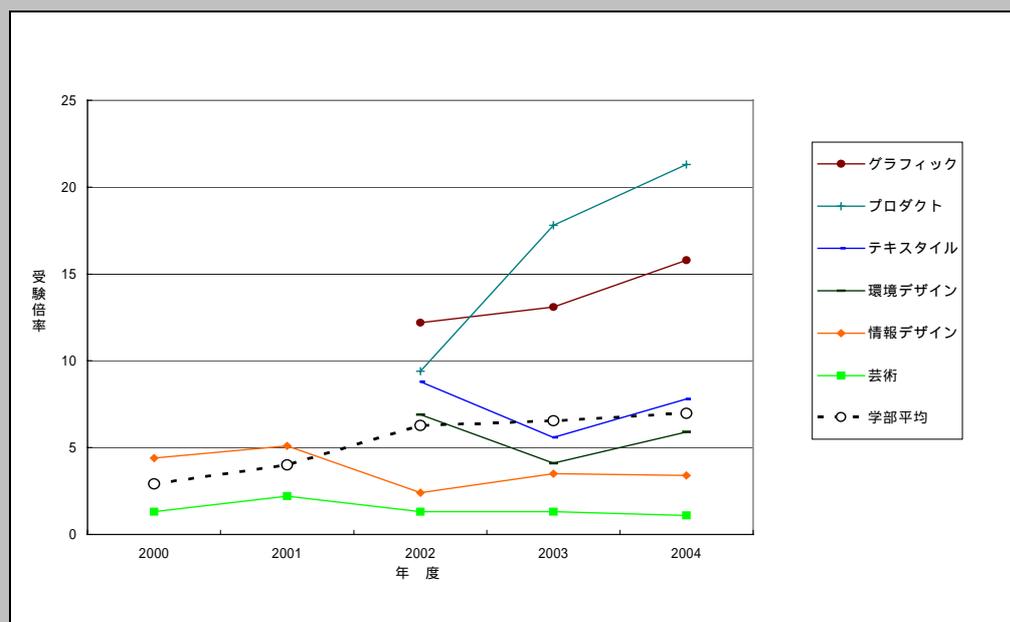
った。美術学部は 1998 年度から、造形表現学部は 1999 年度から、新たに入試結果資料をまとめなおした。特に、受験倍率を出すために、合格者は補欠繰上合格者を含む数を集計したことは特記事項であろう。

受験倍率は、入学定員が異なっても一定の基準で、志願倍率では伝わりきれない、外部からみたそれぞれの需要度が分かるものである。

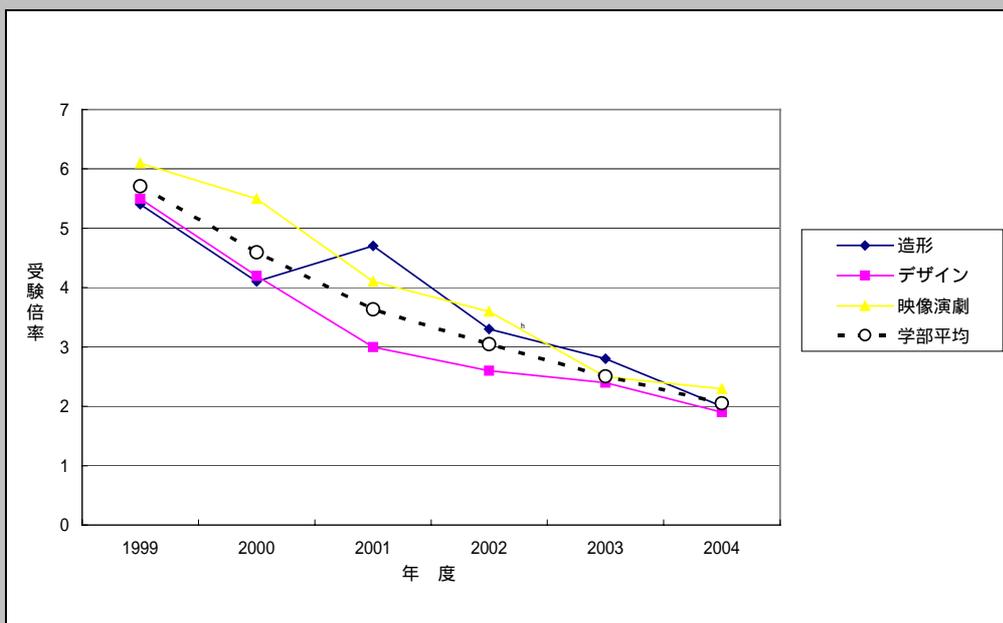
< 分析・報告・評価 >



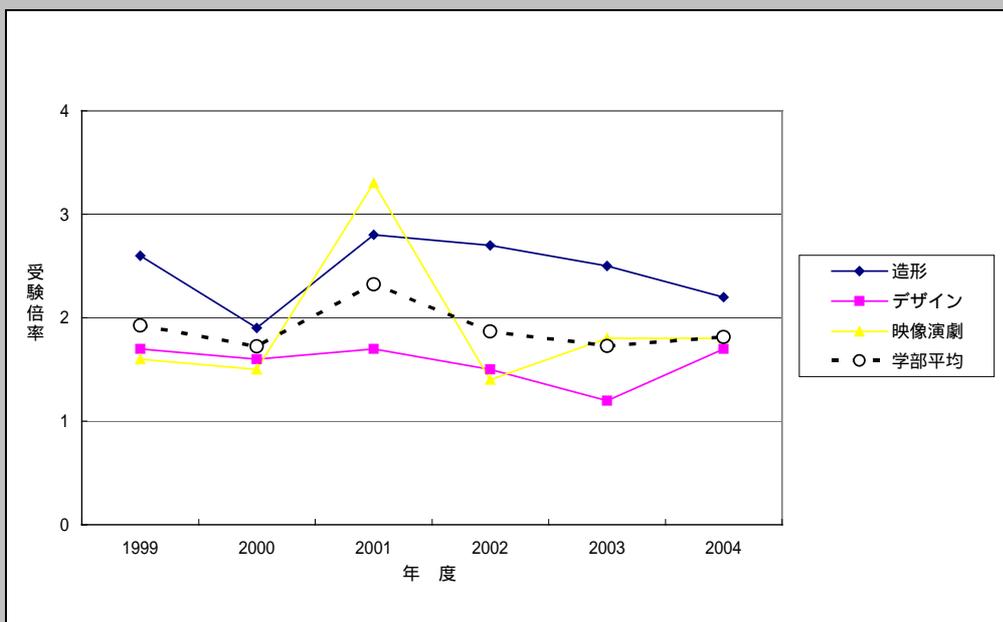
美術学部（一般入試）受験倍率とその推移（図 -3）



美術学部（センター試験利用入試）受験倍率とその推移（図 -4）



造形表現学部（一般入試）受験倍率とその推移（図 -5）



造形表現学部（社会人入試）受験倍率とその推移（図 -6）

ここ数年、美術学部の一般入試の志願倍率は横ばいであるが、受験倍率は全体的に緩やかに下降している。各学科間で受験倍率の差も激しいため、はっきりとは言い切れないが学内併願の多さが影響し、一人がいくつもの学科（試験方式による同一学科内も含む）に合格して、受験倍率を下げていることもある。また、当然のように、合格しても他大学へ逃げてしまっていることもある。これは歩留まりに関係することで、今後それぞれの学科

でしっかりと読み解いていく必要があるだろう。特にセンター試験利用入試を実施している学科の併願については必ず調査が必要である。

また造形表現学部は、社会人入試は比較的安定しているが、一般入試は志願者数と同様に全学科が大きく下降している。これも学科ごとに読み解くことは重要だが、学部として見直す必要があるかもしれない。

< 検討・課題 >

しかし、ここで注意しなければならないのは、受験倍率イコールその大学の魅力だと安易に結びつけてはいけないことであろう。受験倍率はひとつの指標ではあるが、極端に言えば、受験倍率が低くても、受験生の質が高いことの方が重要であり、倍率が見せかけのブランドでは困るのである。やみくもに試験内容を優しくするようなことはできるだけすべきではないだろう。ただし、入学後どのような人材でも、優秀な人材として社会に送り出すことができるという方針がある場合、それはひとつの戦略として考えることもできる。

上記のように、受験倍率だけを断片的にとりあげるのではなく、入学時の質をより高める教育内容、また社会にどれだけの人材を送り出せるのか等を総合的に判断して魅力ある大学であるかどうかを考えていく必要があるだろう。

美術学部

1998 年度（一般入試）

学科・専攻・コース	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
絵画学科日本画専攻	35	496	475	44	35	10.8	14.2
絵画学科油画専攻	135	1715	1627	162	133	10.0	12.7
絵画学科版画専攻	35	414	375	53	35	7.1	11.8
彫刻学科	30	271	256	46	33	5.6	9.0
工芸学科	60	444	431	78	62	5.5	7.4
グラフィックデザイン学科	185	2468	2402	219	180	11.0	13.3
生産デザイン学科（プロダクト）	30	531	497	44	29	11.3	17.7
生産デザイン学科（テキスタイル）	40	513	495	73	45	6.8	12.8
環境デザイン学科	80	819	759	141	84	5.4	10.2
情報デザイン学科	120	894	835	181	125	4.6	7.5
芸術学科	60	396	367	91	64	4.0	6.6
合計	810	8961	8519	1132	825	7.5	11.1

1999 年度（一般入試）

学科・専攻・コース	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
絵画学科日本画専攻	35	439	427	41	35	10.4	12.5
絵画学科油画専攻	135	1451	1393	187	135	7.4	10.7
絵画学科版画専攻	35	446	424	53	36	8.0	12.7
彫刻学科	30	260	250	50	33	5.0	8.7
工芸学科	60	496	483	80	63	6.0	8.3
グラフィックデザイン学科	185	2539	2473	196	182	12.6	13.7
生産デザイン学科（プロダクト）	30	525	507	39	28	13.0	17.5
生産デザイン学科（テキスタイル）	40	579	554	66	44	8.4	14.5
環境デザイン学科	80	844	779	111	81	7.0	10.6
情報デザイン学科	120	991	942	221	122	4.3	8.3
芸術学科	60	554	499	115	64	4.3	9.2
合計	810	9124	8731	1159	823	7.5	11.3

2000 年度（一般入試）

学科・専攻・コース	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
絵画学科日本画専攻	33	416	402	50	36	8.0	12.6
絵画学科油画専攻	132	1239	1197	172	136	7.0	9.4
絵画学科版画専攻	33	366	337	52	36	6.5	11.1
彫刻学科	30	259	246	54	34	4.6	8.6
工芸学科	60	411	404	82	65	4.9	6.9
グラフィックデザイン学科	177	2317	2247	215	191	10.5	13.1
生産デザイン学科（プロダクト）	30	430	405	40	31	10.1	14.3
生産デザイン学科（テキスタイル）	40	519	502	72	44	7.0	13.0
環境デザイン学科	78	878	792	128	85	6.2	11.3
情報デザイン学科	80	821	801	176	84	4.6	10.3
芸術学科	44	324	288	121	49	2.4	7.4
合計	737	7980	7621	1162	791	6.6	10.8

2000 年度（センター試験利用入試）

学科	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
情報デザイン学科（A・B方式）	40	378	360	82	47	4.4	9.5
芸術学科	15	132	102	77	12	1.3	8.8
合計	55	510	462	159	59	2.9	9.3

2001 年度（一般入試）

学科・専攻・コース	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
絵画学科日本画専攻	31	384	369	50	37	7.4	12.4
絵画学科油画専攻	129	1278	1226	165	138	7.4	9.9
絵画学科版画専攻	31	271	254	64	36	4.0	8.7
彫刻学科	30	220	204	46	34	4.4	7.3
工芸学科	60	355	345	98	65	3.5	5.9
グラフィックデザイン学科	169	2250	2184	198	180	11.0	13.3
生産デザイン学科（プロダクト）	30	363	335	42	32	8.0	12.1
生産デザイン学科（テキスタイル）	40	480	464	65	44	7.1	12.0
環境デザイン学科	76	724	662	128	87	5.2	9.5
情報デザイン学科	80	831	798	176	86	4.5	10.4
芸術学科	43	273	236	113	51	2.1	6.3
合計	719	7429	7077	1145	790	6.2	10.3

2001 年度（センター試験利用入試）

学科	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
情報デザイン学科（A・B方式）	40	487	442	86	44	5.1	12.2
芸術学科	15	154	120	54	20	2.2	10.3
合計	55	641	562	140	64	4.0	11.7

2002 年度（一般入試）

学科・専攻・コース	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
絵画学科日本画専攻	30	369	358	51	37	7.0	12.3
絵画学科油画専攻	125	1212	1178	173	134	6.8	9.7
絵画学科版画専攻	29	235	217	60	36	3.6	8.1
彫刻学科	30	197	188	39	34	4.8	6.6
工芸学科	60	309	304	93	66	3.3	5.2
グラフィックデザイン学科	137	2241	2204	167	155	13.2	16.4
生産デザイン学科（プロダクト）	25	361	347	39	26	8.9	14.4
生産デザイン学科（テキスタイル）	32	454	441	57	35	7.7	14.2
環境デザイン学科	59	708	670	112	75	6.0	12.0
情報デザイン学科	80	747	726	178	88	4.1	9.3
芸術学科	37	279	250	130	50	1.9	7.5
合計	644	7112	6883	1099	736	6.3	11.0

2002 年度（センター試験利用入試）

学科・コース	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
グラフィックデザイン学科	25	1379	1363	112	27	12.2	55.2
生産デザイン学科（プロダクト）	5	195	188	20	5	9.4	39.0
生産デザイン学科（テキスタイル）	8	243	238	27	8	8.8	30.4
環境デザイン学科	15	441	429	62	11	6.9	29.4
情報デザイン学科	40	316	233	99	44	2.4	7.9
芸術学科	20	138	121	90	24	1.3	6.9
合計	113	2712	2572	410	119	6.3	24.0

2003 年度（一般入試）

学科・専攻	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
絵画学科日本画専攻	30	327	323	51	35	6.3	10.9
絵画学科油画専攻	120	1116	1085	168	132	6.5	9.3
絵画学科版画専攻	27	226	205	55	36	3.7	8.4
彫刻学科	30	218	213	47	34	4.5	7.3
工芸学科	60	240	236	96	65	2.5	4.0
グラフィックデザイン学科	129	2038	1996	174	155	11.5	15.8
生産デザイン学科（プロダクト）	25	356	337	36	30	9.4	14.2
生産デザイン学科（テキスタイル）	32	398	380	54	35	7.0	12.4
環境デザイン学科	57	548	526	90	69	5.8	9.6
情報デザイン学科	80	721	697	173	87	4.0	9.0
芸術学科	36	210	186	113	50	1.6	5.8
合計	626	6398	6184	1057	728	5.9	10.2

2003 年度（センター試験利用入試）

学科・専攻	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
グラフィックデザイン学科	25	1493	1470	112	25	13.1	59.7
生産デザイン学科（プロダクト）	5	230	214	12	5	17.8	46.0
生産デザイン学科（テキスタイル）	8	260	252	45	9	5.6	32.5
環境デザイン学科	15	99	90	22	16	4.1	6.6
情報デザイン学科	40	439	390	112	42	3.5	11.0
芸術学科	20	120	102	81	23	1.3	6.0
合計	113	2641	2518	384	120	6.6	23.4

2004 年度（一般入試）

学科・専攻	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
絵画学科日本画専攻	28	362	356	45	37	7.9	12.9
絵画学科油画専攻	118	1027	996	171	134	5.8	8.7
絵画学科版画専攻	25	200	192	51	36	3.8	8.0
彫刻学科	30	177	172	51	34	3.4	5.9
工芸学科	60	234	228	96	66	2.4	3.9
グラフィックデザイン学科	121	1931	1893	198	151	9.6	16.0
生産デザイン学科（プロダクト）	25	347	339	38	28	8.9	13.9
生産デザイン学科（テキスタイル）	32	350	342	61	35	5.6	10.9
環境デザイン学科	55	612	590	118	69	5.2	11.1
情報デザイン学科	80	617	596	200	83	3.0	7.7
芸術学科	35	190	168	134	48	1.3	5.4
合計	609	6047	5872	1163	721	5.1	9.9

2004 年度（センター試験利用入試）

学科・専攻	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
グラフィックデザイン学科	25	1457	1439	91	31	15.8	58.3
生産デザイン学科（プロダクト）	5	240	234	11	6	21.3	48.0
生産デザイン学科（テキスタイル）	8	271	266	34	10	7.8	33.9
環境デザイン学科	15	475	463	78	18	5.9	31.7
情報デザイン学科	40	371	338	100	44	3.4	9.3
芸術学科	20	128	104	93	27	1.1	6.4
合計	113	2942	2844	407	136	7.0	26.0

造形表現学部

1999 年度（一般入試結果資料）

学科	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
造形学科	28	283	234	43	37	5.4	10.1
デザイン学科	80	679	560	101	94	5.5	8.5
映像演劇学科	45	486	398	65	63	6.1	10.8
合計	153	1448	1192	209	194	5.7	9.5

1999 年度（社会人入試結果資料）

学科	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
造形学科	12	44	42	16	12	2.6	3.7
デザイン学科	20	47	42	25	24	1.7	2.4
映像演劇学科	15	24	22	14	13	1.6	1.6
合計	47	115	106	55	49	1.9	2.4

2000 年度（一般入試結果資料）

学科	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
造形学科	28	223	194	47	37	4.1	8.0
デザイン学科	80	609	489	116	104	4.2	7.6
映像演劇学科	45	491	415	76	69	5.5	10.9
合計	153	1323	1098	239	210	4.6	8.6

2000 年度（社会人入試結果資料）

学科	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
造形学科	12	28	28	15	13	1.9	2.3
デザイン学科	20	29	28	17	16	1.6	1.5
15	6	6	313	119	100	2.6	4.9
映像演劇学科	45	295	247	68	63	3.6	6.6
合計	148	841	716	235	200	3.0	5.7

2001 年度（一般入試結果資料）

学科	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
造形学科	28	220	193	41	36	4.7	7.9
デザイン学科	80	471	396	131	107	3.0	5.9
映像演劇学科	45	399	330	81	70	4.1	8.9
合計	153	1090	919	253	213	3.6	7.1

2001 年度（社会人入試結果資料）

学科	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
造形学科	12	51	47	17	17	2.8	4.3
デザイン学科	20	32	29	17	17	1.7	1.6
映像演劇学科	15	10	10	3	3	3.3	0.7
合計	47	93	86	37	37	2.3	2.0

2002 年度（一般入試結果資料）

学科	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
造形学科	28	176	156	48	37	3.3	6.3
デザイン学科	75	370	313	119	100	2.6	4.9
映像演劇学科	45	295	247	68	63	3.6	6.6
合計	148	841	716	235	200	3.0	5.7

2002 年度（社会人入試結果資料）

学科	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
造形学科	12	42	40	15	13	2.7	3.5
デザイン学科	25	32	29	19	16	1.5	1.3
映像演劇学科	15	17	17	12	11	1.4	1.1
合計	52	91	86	46	40	1.9	1.8

2003 年度（一般入試結果資料）

学科	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
造形学科	28	151	135	48	37	2.8	5.4
デザイン学科	75	338	294	124	99	2.4	4.5
映像演劇学科	45	245	207	82	62	2.5	5.4
合計	148	734	636	254	198	2.5	5.0

2003 年度（社会人入試結果資料）

学科	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
造形学科	12	39	38	15	13	2.5	3.3
デザイン学科	25	29	27	23	20	1.2	1.2
映像演劇学科	15	19	18	10	9	1.8	1.3
合計	52	87	83	48	42	1.7	1.7

2004 年度（一般入試結果資料）

学科	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
造形学科	28	104	91	46	36	2.0	3.7
デザイン学科	65	254	207	108	84	1.9	3.9
映像演劇学科	45	216	176	77	63	2.3	4.8
合計	138	574	474	231	183	2.1	4.2

2004 年度（社会人入試結果資料）

学科	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	受験倍率	志願倍率
造形学科	12	33	33	15	14	2.2	2.8
デザイン学科	35	54	53	32	30	1.7	1.5
映像演劇学科	15	21	21	12	10	1.8	1.4
合計	62	108	107	59	54	1.8	1.7

大学院美術研究科博士前期課程（修士課程）

2001 年度

専攻	志願者	受験者	合格者	入学者
絵画専攻	70	70	60	56
彫刻専攻	14	14	13	12
デザイン専攻	34	33	18	18
芸術学専攻	10	9	8	7
合計	128	126	99	93

2002 年度

専攻	志願者	受験者	合格者	入学者
絵画専攻	89	88	72	72
彫刻専攻	12	12	11	11
工芸専攻	12	12	8	8
デザイン専攻	45	45	29	27
芸術学専攻	8	7	4	4
合計	166	164	124	122

2003 年度

専攻	志願者	受験者	合格者	入学者
絵画専攻	70	69	59	54
彫刻専攻	13	13	13	13
工芸専攻	16	15	13	13
デザイン専攻	35	34	28	25
芸術学専攻	10	10	6	5
合計	144	141	119	110

2004 年度

専攻	志願者	受験者	合格者	入学者
絵画専攻	71	69	61	59
彫刻専攻	11	11	10	10
工芸専攻	13	13	13	12
デザイン専攻	52	52	37	37
芸術学専攻	5	5	5	5
合計	152	150	126	123

 大学院美術研究科博士後期課程（博士課程）

2001 年度

専攻	志願者	受験者	合格者	入学者
美術専攻	11	11	9	8

2002 年度

専攻	志願者	受験者	合格者	入学者
美術専攻	10	10	5	5

2003 年度

専攻	志願者	受験者	合格者	入学者
美術専攻	11	10	4	4

2004 年度

専攻	志願者	受験者	合格者	入学者
美術専攻	7	7	6	6

入試結果資料の注意事項

- 合格者は補欠繰り上げ合格者を含む。
- 2003 年度以降プロダクトデザインとテキスタイルデザインの両コースは、それぞれ専攻となり入学定員などの表記を分けることになった。そのため今回は、それ以前に合算されていた数値を比較できるよう分けて表記した。
- 2003 年度、情報デザイン学科に情報芸術コースと情報デザインコースができたが、今回コースを分けずに表記した。
2004 年度、造形表現学部社会人入試で A 日程（全学科）と B 日程（デザイン学科のみ）が実施されたが、日程を分けずに表記した。

歩留まり

歩留まりとは、下の枠内に書いてある通り、資料請求から入学までをトータルに分析していくものであるが、今回は合格 入学の部分にのみ注目してある。単純に、合格者がいったい何人入学したのかということで、その割合が高ければ高いほど、本学の需要度が高いと考えることができる。ただ残念なことに、一人がいくつもの学科（試験方式による同一学科内も含む）に合格している場合など、本学に入学してはいるが、手続きを行った学科（同一学科の試験方式も含む）以外は、欠員扱いのため、純粋に本学の需要度と断定できず、あくまでも目安としての資料となっている。

資料請求	オープンキャンパスなどのイベントへの直接参加	出願	合格	入学
------	------------------------	----	----	----

< 分析・報告・評価 >

今回はあくまでも目安であるが、大学全体というより、ひとつの学科に着目すると面白い見方をすることもできる。

例えば受験倍率が低くても、この歩留まり率が高い学科がある。これはその学科が第一志望もしくは学びたい学科で、受験生にとって入学後やりがいのある内容があると考えても良いのかもしれない。これは十分需要度があるとみなしても良いのではないだろうか。そのような内容については、受験生からアンケートなど取る必要があるかと思うが、優秀な人材を確保することは、実際どれだけ第一志望の学科もしくは学びたい学科を作れるかが問われてくることでもある。

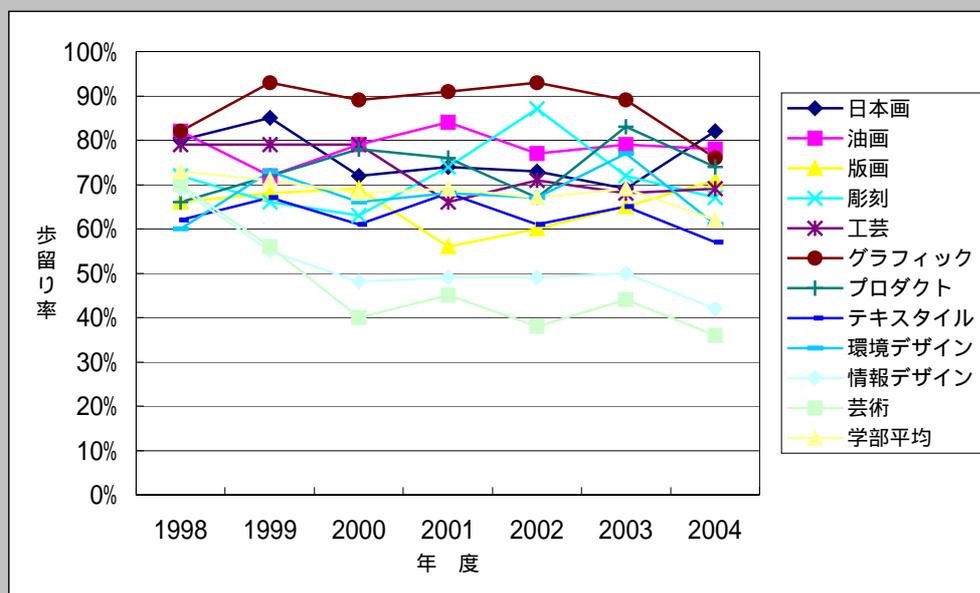
< 課 題 >

今後、より正確な資料を作成するため、関係部署が協力して、延数や実数の問題なども解決し、歩留まりひとつひとつの流れに数字の割合だけではなく、中身の分析もしていく必要があるだろう。

美術学部の2004年度入試を例にとれば、資料請求が約10,000件（高校2年生以下も含む）、オープンキャンパス来場者が約3,000名、出願が延数で約9,000名（実数で約5,000名）、入学定員が約700名、合格者は延数で約1,500名、入学者は実数で約850名である。このうち入学した受験生はどの時点から本学に興味を持ち、どのように本学と関わり、どこに魅力を感じ、何で本学に入学したのかを明らかにしていく必要があるだろう。

美術学部（一般入試）歩留まりとその推移

学科・専攻・コース	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
絵画学科日本画専攻	80%	85%	72%	74%	73%	69%	82%
絵画学科油画専攻	82%	72%	79%	84%	77%	79%	78%
絵画学科版画専攻	66%	68%	69%	56%	60%	65%	71%
彫刻学科	72%	66%	63%	74%	87%	72%	67%
工芸学科	79%	79%	79%	66%	71%	68%	69%
グラフィックデザイン学科	82%	93%	89%	91%	93%	89%	76%
生産デザイン学科（プロダクト）	66%	72%	78%	76%	67%	83%	74%
生産デザイン学科（テキスタイル）	62%	67%	61%	68%	61%	65%	57%
環境デザイン学科	60%	73%	66%	68%	67%	77%	61%
情報デザイン学科	69%	55%	48%	49%	49%	50%	42%
芸術学科	70%	56%	40%	45%	38%	44%	36%
平均	73%	71%	68%	69%	67%	69%	62%

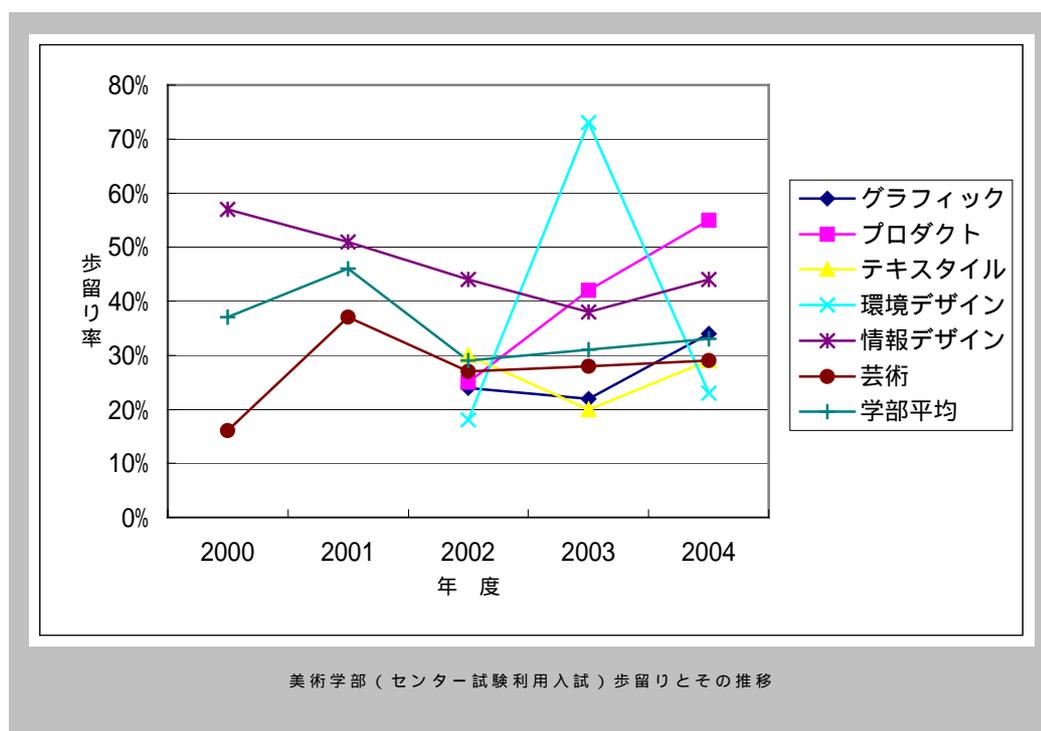


美術学部（一般入試）歩留りとその推移

美術学部（センター試験利用入試）歩留まりとその推移

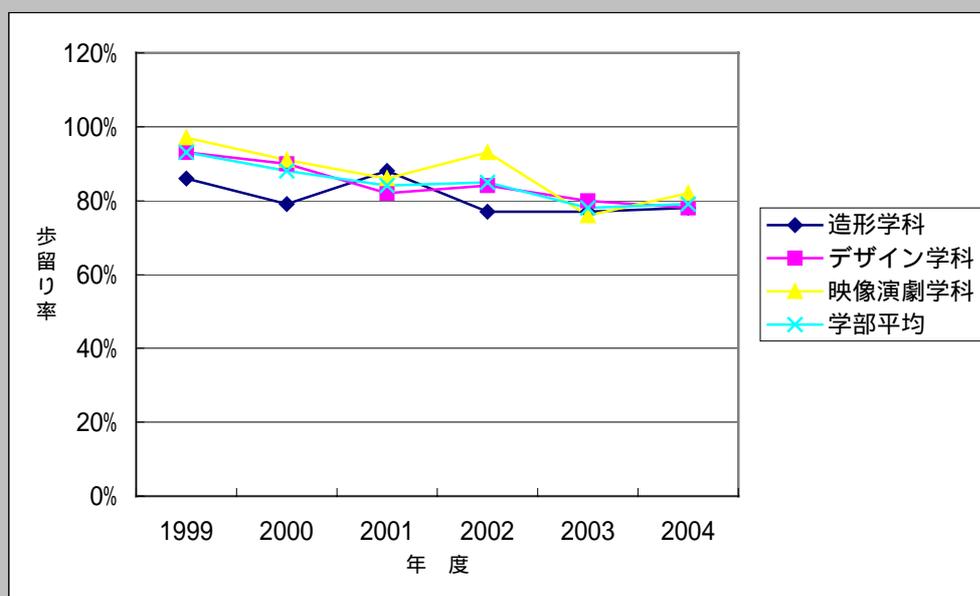
学科・専攻・コース	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
グラフィックデザイン学科			24%	22%	34%
生産デザイン学科（プロダクト）			25%	42%	55%
生産デザイン学科（テキスタイル）			30%	20%	29%
環境デザイン学科			18%	73%	23%
情報デザイン学科	57%	51%	44%	38%	44%
芸術学科	16%	37%	27%	28%	29%
平均	37%	46%	29%	31%	33%

2003年度、環境デザイン学科は同一学科内で一般入試とセンター試験利用入試を併願することができなかった。そのためセンター試験利用入試の歩留まりが非常に高くなった。なお2002、2004年度は同一学科内で併願することが可能であった。



造形表現学部（一般入試）歩留まりとその推移

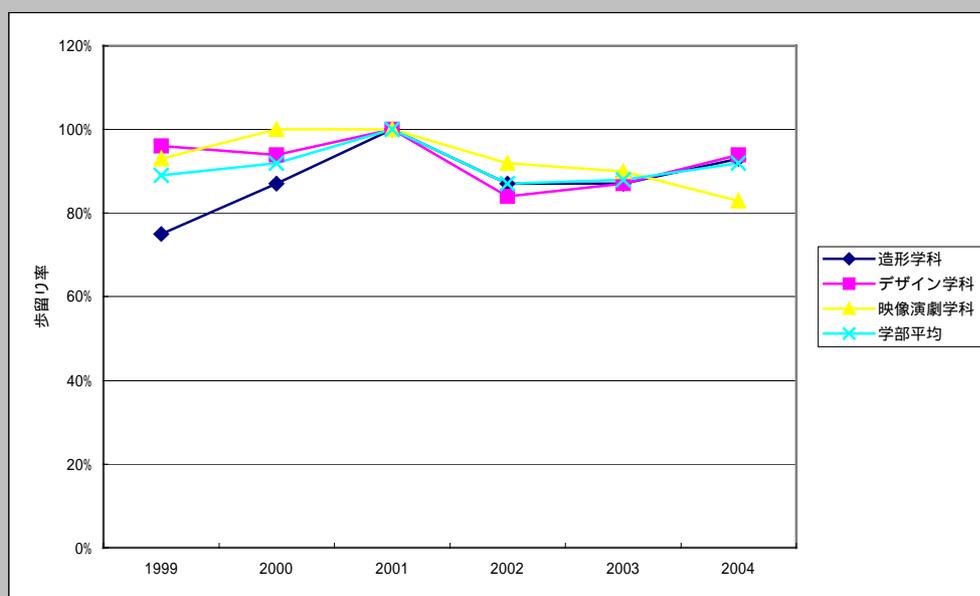
学科	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
造形学科	86%	79%	88%	77%	77%	78%
デザイン学科	93%	90%	82%	84%	80%	78%
映像演劇学科	97%	91%	86%	93%	76%	82%
平均	93%	88%	84%	85%	78%	79%



造形表現学部（一般入試）歩留りとその推移

造形表現学部（社会人入試）歩留まりとその推移

学科	1999	2000	2001	2002	2003	2004
造形学科	75%	87%	100%	87%	87%	93%
デザイン学科	96%	94%	100%	84%	87%	94%
映像演劇学科	93%	100%	100%	92%	90%	83%
平均	89%	92%	100%	87%	88%	92%



造形表現学部（社会人入試）歩留まりとその推移

2. 卒業について

< 分析・報告・評価 >

美術学部

1999～2003年度（2004年3月卒業）の5年間は、学生定員増が完成期を迎えた時期である。この定員増で、女子学生数がさらに増大した。

1999年度の男女比55%が、57%、57%、63%、65%と推移して、さらに女子はその比率を増加させて来ている。

就職

この5年間の求人件数・求人数はほぼ横這い状態であったが、大学への求人の他にネット上での求人が増えたことを勘案すれば、求人状況は安定していたと言えよう。

しかし、求職者に対する採用者の比率は女子の増加に反比例して、減少して来た。

1999年度の内定率は84%から71%、83%、77%、73%と減少したが、これは女子学生の求職増が基底にあると思われる。

男女雇用機会均等法が法制化されて19年が経過したが、求人市場では相変わらずの女子に厳しい状況は変わっていない。

それにもかかわらず本学は、情報誌に見るように、求人件数、求人数、採用者数、採用企業（優良）等に於いて他の美術系大学を制して来た。

進学

大学院への進学をはじめとする進学率は、学生数の増加と比例することなく、過去5年間微増に留まって来た。

1999年度11%から、12%、13%、12%、そして2003年度の進学率は13%であった。

但し、進学先は大きく様変わりした。

これまでは、東京芸大・筑波大と云った美術系大学院が主な進学先であったが、東京大学、早稲田大学、慶應義塾大学等への進学者が出て来ている。これは、研究テーマの広がり、進路幅の拡大が見られるだけに大学院修了後が非常に楽しみである。

造形表現学部

美術学部二部の時代（1999～2001年度卒業）と、造形表現学部改組後の卒業生の進路状況は一変し、就職・進学とも質量ともに大きく変革を遂げた。

就職

一覧表からも分かるように、美術学部二部当時の1999年度が52%、51%、51%、造形表現学部への改組後、2002年度と2003年度がともに69%にまで就職決定率は上昇したばかりでなく、内定企業も著名な企業が多くなって来た。

今後、まだまだ質・量ともに飛躍する余地は十分にあると思われ、期待できる。

進学

進学率は改組前より改組後が低下して来ており、今後を注視していきたい。

単に授業料高に起因しているとは思えないが、社会人にあつての進学は厳しい環境下に

あると思われる。

1999年度以降における美術学部、造形表現学部、大学院進路状況

美術学部	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
求人件数	1,017	1,167	1,175	1,052	1,030
求人数	1,932	1,955	1,958	1,565	1,339
卒業生数	653 (361)	620 (352)	765 (440)	795 (500)	811 (526)
就職希望者数	274 (125)	303 (193)	338 (208)	422 (276)	379 (252)
就職者数	230 (128)	214 (124)	281 (166)	327 (214)	276 (181)
進学者数	74 (36)	75 (45)	98 (52)	93 (55)	102 (68)
自営業者数	8 (3)	3 (2)	5 (1)	6 (1)	12 (4)
その他・無業	341 (194)	328 (181)	381 (221)	369 (230)	421 (273)

()は女子

造形表現学部	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
求人件数	991	1,137	1,154	1,046	1,023
求人数	1,883	1,576	1,747	1,450	1,330
卒業生数	175 (100)	169 (100)	175 (102)	212 (145)	226 (149)
就職希望者数	67 (39)	69 (38)	79 (42)	85 (59)	89 (61)
就職者数	35 (17)	35 (22)	40 (23)	59 (45)	57 (38)
進学者数	12 (8)	11 (3)	14 (10)	12 (7)	10 (8)
自営業者数	3 (1)	1 (1)	5 (1)	4 (2)	9 (4)
その他・無業	125 (74)	122 (74)	116 (68)	137 (91)	150 (99)

()は女子

大学院	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
求人件数	139	172	318	227	234
求人数	264	212	326	292	280
卒業生数	103 (53)	92 (41)	103 (52)	88 (49)	121 (63)
就職希望者数	37 (16)	34 (16)	28 (13)	40 (25)	24 (13)
就職者数	29 (7)	28 (14)	19 (6)	23 (15)	23 (13)
進学者数	1 (1)	10 (3)	4 (1)	6 (4)	7 (2)
自営業者数	3 (1)	1 (0)	1 (1)	1 (0)	4 (0)
その他・無業	70 (44)	53 (24)	79 (44)	58 (30)	87 (48)

()は女子

学科別（美術学部）による進路状況

絵画	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
求人件数	1,017	1,167	1,175	1,052	1,030
求人数	1,932	1,955	1,958	1,565	1,339
卒業生数	192 (106)	198 (112)	203 (119)	197 (130)	207 (149)
就職希望者数	60 (38)	67 (46)	45 (31)	67 (47)	55 (41)
就職者数	51 (30)	42 (29)	42 (27)	44 (28)	38 (31)
進学者数	44 (19)	44 (26)	57 (35)	44 (29)	52 (38)
自営業者数	2 (0)	0 (0)	2 (1)	3 (1)	3 (3)
その他・無業	95 (57)	112 (57)	102 (56)	106 (72)	114 (77)

()は女子

彫刻	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
求人件数	1,017	1,167	1,175	1,052	1,030
求人数	1,932	1,955	1,958	1,565	1,339
卒業生数	31 (19)	32 (19)	28 (16)	31 (14)	33 (17)
就職希望者数	4 (3)	5 (4)	4 (4)	6 (5)	5 (2)
就職者数	2 (1)	3 (2)	4 (4)	5 (4)	6 (4)
進学者数	13 (5)	9 (5)	12 (4)	9 (4)	11 (6)
自営業者数	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	3 (0)
その他・無業	16 (13)	18 (10)	12 (8)	17 (6)	13 (7)

()は女子

工芸	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
求人件数			1,175	1,052	1,030
求人数			1,958	1,565	1,339
卒業生数	0 (0)	0 (0)	55 (40)	67 (52)	62 (50)
就職希望者数			16 (14)	24 (23)	22 (19)
就職者数			14 (12)	21 (20)	8 (7)
進学者数			6 (2)	18 (11)	13 (8)
自営業者数			0 (0)	1 (0)	0 (0)
その他・無業			35 (26)	27 (21)	41 (35)

()は女子

グラフィック	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
求人件数			1,175	1,052	1,030
求人数			1,958	1,565	1,339
卒業生数	0 (0)	0 (0)	170 (90)	181 (99)	182 (104)
就職希望者数			125 (74)	146 (86)	142 (91)
就職者数			104 (59)	118 (72)	96 (61)
進学者数			8 (2)	6 (2)	5 (1)
自営業者数			1 (0)	0 (0)	0 (0)
その他・無業			57 (29)	57 (25)	81 (42)

()は女子

生産デザイン	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
求人件数			1,175	1,052	1,030
求人数			1,958	1,565	1,339
卒業生数	0 (0)	0 (0)	64 (54)	82 (54)	66 (36)
就職希望者数			39 (17)	58 (35)	49 (24)
就職者数			32 (23)	42 (23)	44 (20)
進学者数			2 (3)	4 (3)	5 (5)
自営業者数			0 (0)	0 (0)	2 (0)
その他・無業			30 (28)	36 (28)	15 (11)

()は女子

環境デザイン	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
求人件数			1,175	1,052	1,030
求人数			1,958	1,565	1,339
卒業生数	0 (0)	0 (0)	84 (52)	71 (49)	89 (58)
就職希望者数			38 (26)	41 (28)	44 (31)
就職者数			28 (19)	34 (25)	34 (22)
進学者数			3 (1)	2 (1)	1 (1)
自営業者数			1 (0)	0 (0)	2 (0)
その他・無業			52 (32)	35 (23)	52 (35)

()は女子

情報デザイン	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
求人件数			1,175	1,052	1,030
求人数			1,958	1,565	1,339
卒業生数	0 (0)	0 (0)	103 (53)	114 (68)	124 (79)
就職希望者数			53 (29)	68 (47)	50 (36)
就職者数			39 (21)	54 (38)	43 (32)
進学者数			7 (4)	6 (1)	10 (5)
自営業者数			0 (0)	1 (0)	0 (0)
その他・無業			57 (28)	53 (29)	71 (42)

()は女子

芸術	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
求人件数	1,017	1,167	1,175	1,052	1,030
求人数	1,932	1,955	1,958	1,565	1,339
卒業生数	61 (40)	52 (30)	58 (36)	52 (34)	48 (33)
就職希望者数	23 (17)	22 (18)	18 (13)	12 (5)	12 (8)
就職者数	17 (12)	9 (6)	18 (10)	9 (4)	7 (4)
進学者数	9 (7)	2 (1)	3 (2)	4 (4)	5 (4)
自営業者数	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (1)
その他・無業	35 (21)	41 (23)	36 (24)	38 (26)	34 (24)

()は女子

2000 年度卒業後の状況（学校基本調査）

		専門的・技術的職業					事務従事者	販売従事者	サービス職業	運輸・通信	その他	計	
		建築・土木・測量	情報処理技術者	教員	保健婦・看護婦	美術・写真・デザイナー・音楽・舞台							その他
絵画科	男			2		13	1	2			3	21	
	女			4		19	1	2	1		1	28	
彫刻科	男					1						1	
	女					1						1	
デザイン科	男					66	1				1	68	
	女	2				75	1	1	1		2	83	
建築科	男	5				3		1				9	
	女	2				1						3	
芸術学科	男					2	2				1	5	
	女					4	1		1		4	10	
絵画学科（二部）	男					1					1	2	
	女					3						3	
デザイン学科（二部）	男		1	1		9		3			2	16	
	女					10	1	2				13	
芸術学科（二部）	男					2						2	
	女					1	1					2	
絵画専攻（大学院）	男			5		3	1	2				11	
	女			1		1		2			1	5	
彫刻専攻（大学院）	男					1		2				3	
	女			1								1	
デザイン専攻（大学院）	男			1		4		2				7	
	女			1			1					2	
計		9	1	16	0	220	11	19	3	1	0	16	296

職業別就職者数（学校基本調査）

		建設業	製造業										運輸	卸売業	小売業・飲食店	金融・保険業	不動産業	サービス業				その他	計	
			食料品・飲料・たばこ・飼料	繊維工業	衣服・その他の繊維	出版・印刷等	鉄鋼業	金属製品	化学工業	一般機械器具	電気機械器具	輸送用機器器具						その他	医療保健	教育	非営利団体			その他
絵画科	男女				1						6							4		8	2	21		
彫刻科	男				1						16							6		2	3	28		
	女										1											1		
デザイン科	男		1	5			1		3	3	20									29	6	68		
	女		4	5	2		1		1	2	25									32	11	83		
建築科	男	2											1			1					5	9		
	女																				3	3		
芸術学科	男										1			1							3	5		
	女		1		1						2	1									4	1		
絵画学科(二部)	男										1											1		
	女																				2	1		
デザイン学科(二部)	男				1				2		4	1		1					1		5	1		
	女																	2		8	3	13		
芸術学科(二部)	男																				2	2		
	女																				2	2		
絵画専攻(大学院)	男				1						2								6		1	1		
	女				1						1								2			5		
彫刻専攻(大学院)	男										1								2			3		
	女																		1			1		
デザイン専攻(大学院)	男										1									3		2		
	女																		1			1		
計		2	5	1	14	4	0	0	2	0	7	6	81	2	1	2	0	1	0	28	0	106	34	296

産業別就職者(学校基本調査)

2001 年度卒業後の状況 (学校基本調査)

		専門的・技術的職業					事務従事者	販売従事者	サービス職業	運輸・通信	その他	計	
		建築・土木・測量	情報処理技術者	教員	保健婦・看護婦	美術・写真・デザイナー・音楽・舞台							その他
絵画科	男			1		9		1			1	12	
	女			2		21	1	2			2	28	
彫刻科	男					1						1	
	女					1		1				2	
デザイン科	男	1		1		57					2	61	
	女	1		3		68	1	1			3	77	
建築科	男	6				4						10	
	女	5				3					1	9	
芸術学科	男						2				1	3	
	女					1	3	1			1	6	
絵画学科 (二部)	男											0	
	女					1	3				2	6	
デザイン学科 (二部)	男					9	2				2	13	
	女					11	1					12	
芸術学科 (二部)	男											0	
	女					4	1					5	
絵画専攻 (大学院)	男	1		1		2	2				2	8	
	女			1		4		2				7	
彫刻専攻 (大学院)	男			1								1	
	女											0	
デザイン専攻 (大学院)	男					3	1					4	
	女	1		1		2	1					5	
芸術学専攻 (大学院)	男			1								1	
	女						2					2	
計		15	0	12	0	201	2	23	3	0	0	17	273

職業別就職者数(学校基本調査)

		建設業	製造業										運輸	卸売業	小売業・飲食店	金融・保険業	不動産業	サービス業				その他	計	
			食料品・飲料・たばこ・飼料	繊維工業	衣服・その他の繊維	出版・印刷等	化学工業	鉄鋼業	金属製品	一般機械器具	電気機械器具	輸送用機器器具						その他	医療保健	教育	非営利団体			その他
絵画科	男女														1					1		4	2	12
彫刻科	男				3	2			1						1					1	1	7	2	28
	女																							1
デザイン科	男		1	1	1	1	2				4	3	14								1	30	3	61
	女	1		2	6	3							20		1						2	38	4	77
建築科	男	2																				8		10
	女	1				1										1						5		9
芸術学科	男															1	1				1	2	1	6
	女																							3
絵画学科(二部)	男																							0
	女				2					1		1									1	1		6
デザイン学科(二部)	男				2			1				2									2	4	2	13
	女				2	2				2		3										3		12
芸術学科(二部)	男																							0
	女																				1	2	2	5
絵画専攻(大学院)	男											1					2				3			8
	女				2			1				1									1		2	7
彫刻専攻(大学院)	男																				1			1
	女																							0
デザイン専攻(大学院)	男				1	1																	2	4
	女											1										2		5
芸術学専攻(大学院)	男																				1	1		1
	女					1															1			2
計		4	1	3	19	11	2	1	3	0	7	4	58	0	1	4	3	1	0	20	1	110	20	273

産業別就職者・学校基本調査

2002 年度卒業後の状況（学校基本調査）

		専門的・技術的職業						事務従事者	販売従事者	サービス職業	運輸・通信	その他	計
		建築・土木・測量	情報処理技術者	教員	保険婦・看護婦	美術・写真・デザイナー・音楽・舞台	その他						
絵画学科	男			2		14							16
	女			2		21	2	1					26
彫刻学科	男												0
	女					2	1						3
工芸学科	男					2							2
	女			1		9	1						11
グラフィックデザイン学科	男					41	1						42
	女			1		51			1			3	56
生産デザイン学科	男					16		2					18
	女					14							14
環境デザイン学科	男	3				4		1					8
	女	1				14				1			16
情報デザイン学科	男			1		15		2					18
	女					16		2	1				19
芸術学科	男					4	2					3	9
	女					1	1	4				4	10
デザイン科	男												0
	女					1	1	1					3
建築科	男					1							1
	女					1							1
絵画学科 (二部)	男					1					1		2
	女					3						1	4
デザイン学科 (二部)	男					7	2					4	13
	女					13	1						14
芸術学科 (二部)	男												0
	女				1	1		1				1	4
絵画専攻 (大学院)	男			5		1		1					7
	女			1		3							4
彫刻専攻 (大学院)	男			1			1						2
	女												0
デザイン専攻 (大学院)	男					3							3
	女					1		1					2
芸術専攻 (大学院)	男												0
	女											1	1
計		4	0	14	1	260	13	16	2	1	1	17	329

職業別就職者数(学校基本調査)

		建設業	製造業										運輸	卸売業	小売業・飲食店	金融・保険業	不動産業	サービス業				その他	計	
			食料品・飲料・たばこ・飼料	繊維工業	衣服・その他の繊維	出版・印刷等	化学工業	鉄鋼業	金属製品	一般機械器具	電気機械器具	輸送用機器器具						その他	医療保健	教育	非営利団体			その他
絵画学科	男女			1									5		1			1	2	1	3	2	16	
彫刻学科	男女				1	1					1		14		1			1	2		5		26	
工芸学科	男女												2								1	1	3	
グラフィックデザイン学科	男女		1		1								5		1					1	2	2	11	
生産デザイン学科	男女		2		6	4	2						8		1					1	32	3	42	
環境デザイン学科	男女				2		1					6	5	1		1				1	29	3	56	
情報デザイン学科	男女				2							2	7		1	1					2		18	
芸術学科	男女	1		1									3	1						1	8	8	16	
デザイン科	男女				1	1					3	2								1	10	18	18	
建築科	男女				2	1						5								2	10	19	19	
デザイン科	男女				3	1						1	1							1	4	9	9	
建築科	男女														1						3	10	10	
建築科	男女																				1	1	3	
建築科	男女											1										1	1	
絵画学科(二部)	男女											1	1										2	
デザイン学科(二部)	男女											1			1						1	1	4	
デザイン学科(二部)	男女					1					1	1									5	5	13	
デザイン学科(二部)	男女					1						1									10	2	14	
芸術学科(二部)	男女																						0	
芸術学科(二部)	男女					1													1		2		4	
絵画専攻(大学院)	男女											1									6		7	
彫刻専攻(大学院)	男女																			1	1	1	4	
彫刻専攻(大学院)	男女																			1	1		2	
デザイン専攻(大学院)	男女											1	1									1	3	
デザイン専攻(大学院)	男女																			1		1	2	
芸術専攻(大学院)	男女																						0	
芸術専攻(大学院)	男女																				1		1	
計		1	3	2	14	14	7	0	0	1	11	7	66	3	2	11	0	0	3	21	4	140	19	329

産業別就職者(学校基本調査)

2003 年度卒業後の状況（学校基本調査）

		専門的・技術的職業					事務従事者	販売従事者	サービス職業	運輸・通信	その他	計	
		建築・土木・測量	情報処理技術者	教員	保険婦・看護婦	美術・写真・デザイナー・音楽・舞台							その他
絵画学科	男			1	13	2				1	17		
	女			3	18		5	1		1	28		
彫刻学科	男				1						1		
	女			1	3						4		
工芸学科	男				1					1	2		
	女				16		3	1			20		
グラフィックデザイン学科	男				39					1	40		
	女				65	1	1				67		
生産デザイン学科	男				17		1			1	19		
	女				21		1				22		
環境デザイン学科	男	6			3						9		
	女	3		1	12		2			3	21		
情報デザイン学科	男				11		1			3	15		
	女				28		4			3	35		
芸術学科	男				4	1				1	6		
	女						1	1		1	3		
デザイン科	男										0		
	女										0		
建築科	男										0		
	女										0		
造形学科	男									1	1		
	女				1		6	2			9		
デザイン学科	男				6		1			2	9		
	女				23		1			1	25		
映像演劇学科	男				1			1			2		
	女			1	5	3	1	1			11		
絵画専攻 （大学院）	男			1	2		1		1		5		
	女			4	1		3			1	9		
彫刻専攻 （大学院）	男				1						1		
	女										0		
デザイン専攻 （大学院）	男				1		1				2		
	女			1	1		1				3		
芸術専攻 （大学院）	男										0		
	女				1					1	2		
計		9	0	12	1	295	7	34	7	1	0	22	388

職業別就職者数(学校基本調査)

§おわりに§

「現状分析」とその共有化は、本学および各部署の「目標」を設定するための大変重要な作業であり、またこの作業は、内の一体感、外への競争力のための、「総合力」を高める有効な手立てである。同時に「現状分析」を効果的にするには、成果の評価基準（何がよくて何が悪い）を明確にしておく必要がある。

本来は、入学・教育・卒業と、一連の流れを通して俯瞰するのが望ましいと考えるが、中でも、「入学・卒業グループ」が纏めたデータは、重要な評価基準の一つとなるはずだ。その評価基準をつくるためには、定点観測、時系列、彼我比較などの幅広い正確な客観データが要求される。

本グループとして、各部署がどのようなデータがあれば「現状分析」が可能か、という観点で、あるべき姿を標榜するところからからはじめた。しかし、学内にあるデータの種類およびレベルが、フィールドにおいては、ファインアート、デザイン、昼間、夜間など多岐にわたり、シンキングレベルも、経営レベル、教育の現場レベル、実務担当レベルとさまざまで、膨大でかつ各所に点在している現状が判明した。

結果として今回の作業は、今まで纏まっていなかったこれら現有データを拾い上げ、大学全体として統合整理したというレベルにとどまった。したがって、現状分析をするためのデータとみなすには無理があることを重々承知している。しかし、現有データを統合整理するだけでも多くのことが読み取れるという、ある種の光明を得たところが今回の成果とも言え、その観点でこの作業は有意義であった。

今回の作業で

受験者数、倍率、歩留まり

（どのレベルなら良しとするのかを判断する彼我比較材料はなし）

就職率、就職先

それぞれの時系列変化

など、現有するデータの大学全体レベルの統合整理ができたものの、今後大学全体および現場レベルで、競争力のあるブランドをつくり上げるために、

社会からどう見られているか？ 期待されているか？

企業からどう見られているか？ 期待されているか？

受験者からどう見られているか？ 期待されているか？

などの客観評価を知る必要があると考えている。

その他にも、

企業、卒業生、高校／予備校のアンケートなどの必要性は？

専門調査会社による社外内の評価の必要性は？

また、

大学の評価基準をどう見出していくか？

各学科・専攻の目標によって評価の指標は異なるのではないか？

など、今後の課題が見えてきたところと認識している。